

仁淀川町起業家精神育成 高等学校構想

挑戦する長者

仁淀川町そして日本を変えるハイスクール

背景

- 仁淀川町は高等学校がないため、若者やその保護者が県内外に移動せざるを得ない。この流出を止める必要がある。
- 仁淀川町に移住する人々の数はまだ少ない、その中、子供や若い人もほとんど居ない。若い人の移住を増やす必要がある。
- 仁淀川町の零細企業、中小企業には、従業員や後継者がいないため、危機に直面している。従業員や後継者の候補を増やす必要がある。
- 世界の調査・研究によれば、起業家が活動できる町が存続するが、活動できない町なら存続可能性が皆無。
- 同調査によれば、起業家を育つには、幼稚園から高校3年の間が最も重要な時期だが、日本の義務教育や高等学校教育には、起業家精神の教育が反映されていない。

概要

- 本校は、起業家精神(Entrepreneurship)を主要な柱の一つとして町内外の高校生を対象に教育を提供すると共に、郷土愛を沸かし、奉仕活動に参加し、そして農業を営む予定。
- 上記の教育内容に加え、人生計画・キャリアデザイン、ファイナンス・リテラシーも生徒たちと一緒に勉強する。
- 複数の通信教育機関と連携して、高校卒資格の取得を可能にする。
- 本校を仁淀川町で設立することによって、高等学校がないため、若者に進学の機会を与え、そして町外の生徒たちも集まり、町が賑やかになる。
- 将来、この学校のモデルを県内、そして全国の47都道府県に展開し、第一号である、仁淀川町のハイスクールが本社になり、コンサルティングもでき、そして見学される方々に対応する、町内の観光業界・ホテル・民泊・飲食店などの発展にもなる。

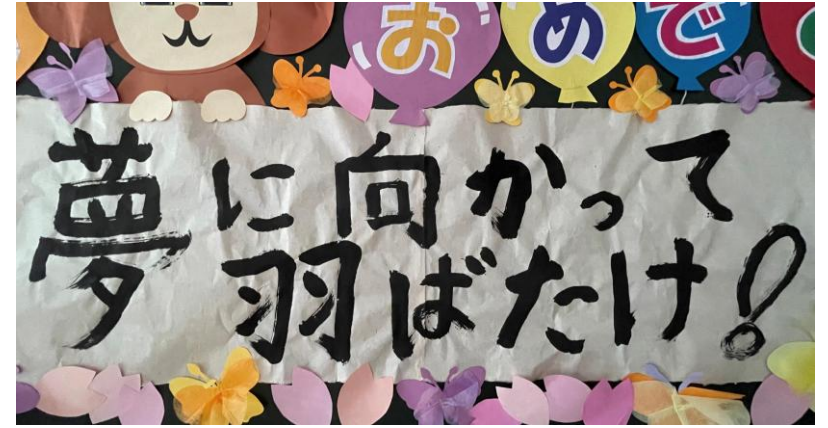


仁淀川町立長者小学校 外側の写真

- 開校
- 建て替え
- 休校

令和7年3月





仁淀川町立長者小学校（休校） 校内の写真

開設に向けて

- **0年目** （校舎の移譲後、改修作業、募集開始、実験的運営（見学、合宿、地域に向けて講演会など）
- **開設 1年目** 新高校一年生を迎え、授業を提供しながら、他のプログラムを実施する
- **開設 2年目** 新高校2年生は一年間のインターンシップに出かけ、新高校一年生を迎える
- **開設 3年目** 新高校3年生は、マネージャーとして学校に戻り、新高校2年生はインターンシップに出かけ、新高校1年生を迎える
- **開設 4年目** 本校は起動に乗っており、コンサルティング事業部が活動開始

生徒の生活（宿泊）

- 1年生 寮生活（生徒たちは、校舎の3階に住む。仁淀川町内のホストファミリーとマッチングし、週末や休みの時、ホストファミリーと過ごすことができる）
- 2年生 ホームステイ（生徒たちは町内のホストファミリーでホームステイする）
- 3年生 ホームステイ & RA（生徒たちは継続的に町内のホストファミリーでホームステイするが、定期的に、寮のマネージャーとして、一週間程度、寮に戻り、後輩たちの世話する）

スケーラブル（規模拡大可能）

- 生徒の数（プログラムの内容）
- 高知県内の他の自治体にて
- 全国（各都道府県）にて
- 各都道府県内の諸自治体にて
- 仁淀川町のハイスクールが第一号であれば、「本社」になり、高知県内をはじめ、全国の各地で展開する際、仁淀川町のハイスクールが研修施設にもなり、先生、スタッフなどのトレーナーを派遣する。

他の機能

- 地元の企業や公的機関（学校や役場など）の研修センターとして
 - 研修内容：プロジェクトマネジメント、フィナンシャルリテラシーなど
- 地元の子供たち・家庭のための放課後の教室（宿題や遊び）や部屋として
- 地元にかかれる食堂（三食）
- 地元にかかれるカフェやシェアワークスペースとして（フリーWifiなど）
- 夏、地元にかかれるプール
- 一年中、地元にかかれる体育館

今後

- 必要な改修作業の調査
- 改修作業の見積もり
- 校舎の移譲ないし使用権利の取得
- ファンディング（資金調達）
- 協力者・スタッフの確保
- 協力団体、期間とのMOU（合意書、契約など）締結
- 生徒募集
- ボランティアの手伝いが必要とされる仁淀川町内の福祉施設、農業・森林、地域団体の募集
- インターン（や将来の後継者）が希望している仁淀川町内の店や零細企業、中小企業の募集
- ホストファミリーになる仁淀川町内の家庭を募集する